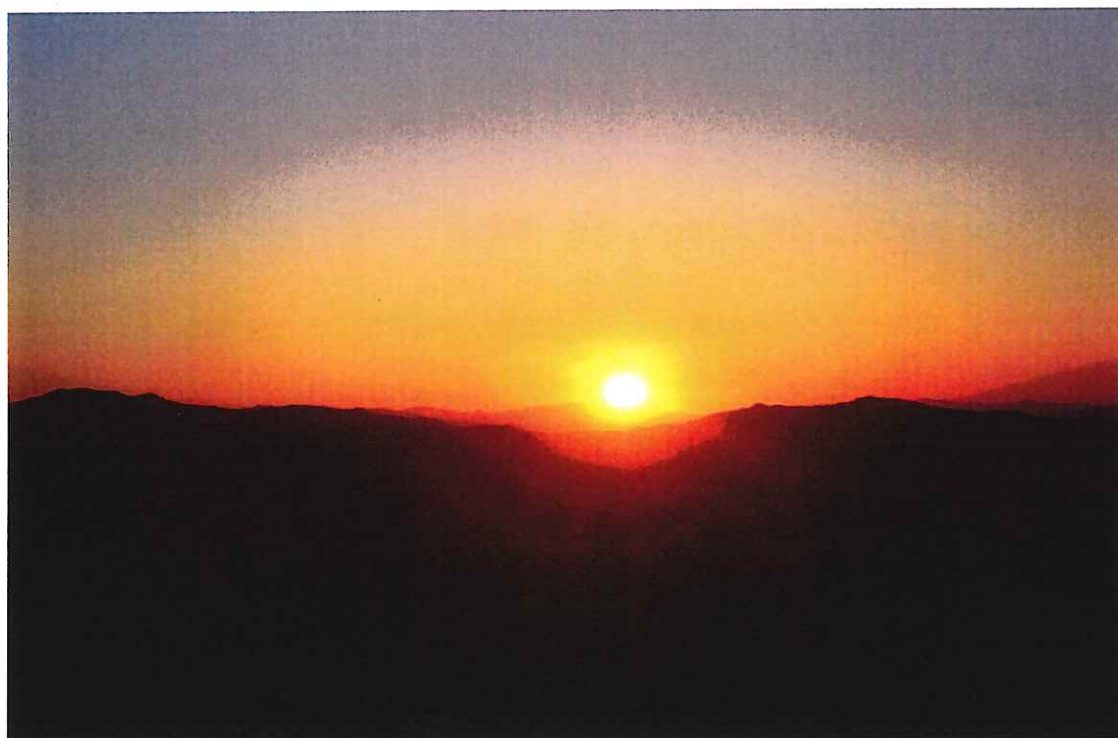


2023年度版 環境経営レポート



発行年月日 2024年 7月31日

有限会社 伊東組

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境経営計画
6. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
8. 環境経営目標の実績
9. 環境経営計画の取組結果とその評価
10. 次年度の取組内容
 - (1) 環境経営目標
 - (2) 環境経営計画
11. 代表者による全体評価と見直しの結果

発行日：2024年7月31日

発行責任者：環境管理責任者 塩見 武尊

次回発行予定： 2025年7月頃

1 組織の概要

【事業所名】 有限会社伊東組

【代表者氏名】 代表取締役 塩見武尊

【所在地】

本社 高知県吾川郡いの町上八川甲3119番地1
 倉庫 高知県吾川郡いの町上八川甲2958番地1
 資材置場 高知県吾川郡いの町上八川上分下カゲ5845番

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 代表取締役 塩見武尊
 連絡先担当者 大原正亀
 連絡先 TEL:088-867-2458
 FAX:088-867-2100
 E-mail:itougumi@air.ocn.ne.jp

【事業活動の内容】

建設業(主に防災対策等の土木工事を行っています。)

建設業許可

許可番号 高知県知事 許可(特-5)第5978号
 許可年月日 令和5年9月14日

建設業の種類

土木工事業 とび・土工事業 石工事業 鋼構造物工事業
 舗装工事業 しゅんせつ工事業 塗装工事業 水道施設工事業
 解体工事業

【事業規模】

設立年月日 昭和61年12月16日
 資本金 金2000万円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
完成工事額 (百万円)	128	278	200
従業員数 (名)	18	21	22
事務所床面積 (m2)	377.45	377.45	377.45
倉庫床面積 (m2)	1,146	1,146	1,146
資材置場面積 (m2)	1,801	1,801	1,801

従業員数は、6月30日現在

会計年度 7月 ~ 6月

2 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

有限会社 伊東組 全社

本社	高知県吾川郡いの町上八川甲3119番地 1	（常駐者： 22 名）
倉庫	高知県吾川郡いの町上八川甲2958番地 1	（常駐者： 0 名）
資材置場	高知県吾川郡いの町上八川上分下カゲ5845番	（常駐者： 0 名）

対象事業：土木工事業 とび・土工工事業 石工事業 舗装工事業 水道施設工事業

対象事業：建設業（主に災害復旧工事・道路改良工事・河川工事等の土木工事）

【レポートの対象期間】

2023年7月～2024年6月

【環境経営レポートの発行日】

2024年7月31日

【作成責任者】

環境管理責任者 塩見武尊

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs NO.	項目	当社対象有無	備 考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を		高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに		環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に		水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も		高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう		低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2 削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう		下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう		緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

3 環境経営方針

【環境経営理念】

緑豊かな自然のなかで育まれた人情味あふれる地域の皆さまの信頼を基盤に、本業である土木工事を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みながら、継続的改善による環境経営を行っていきます。

【基本方針】

1. 建設工事において、環境負荷の少ない工事（設計、施工）を行います。
2. トラック・重機・車輛の燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
3. 事務所・現場における電力使用量の削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
4. 建設工事及び事務所における廃棄物発生量の削減、再利用及びリサイクルを行います。
5. 事務所における水使用量の削減により排水量を削減します。
6. 環境関連法規及び条例等を遵守します。
7. 環境経営方針は全従業員に周知するとともに、環境経営レポート等環境情報については広く外部公表いたします。

平成23年1月5日 制定

平成29年7月1日 改定

令和2年7月1日 改定

令和3年7月1日 改定

令和6年7月1日 改定

高知県吾川郡いの町上八川甲3119番地1

有限会社 伊東組

代表取締役 塩見 武尊

4 環境経営目標

(2023年度)

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準年 2019年度 2019.7-2020.6	2023年度 目標 2023.7-2024.6
売上高		百万円	177	250
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	8,752	8,300
	原単位	(ℓ/百万円)	49.45	33.20
軽油使用量	総量	(ℓ)	24,534	23,400
	原単位	(ℓ/百万円)	138.61	93.60
灯油使用量	総量	(ℓ)	336	0
	原単位	(ℓ/百万円)	1.90	0.00
LPG使用量	総量	(kg)	4	0
	原単位	(kg/百万円)	0.02	0.00
電力使用量	総量	(kWh)	6,938	6,400
	原単位	(kWh/百万円)	39.20	25.60
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	88,119	83,007
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	497.85	332.03
用水使用量	総量	(m ³)	78	41
	原単位	(m ³ /百万円)	0.44	0.16
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	558	495
	原単位	(kg/百万円)	3.15	1.98
産業廃棄物排出量	総量	(t)	717.9	690.0
	原単位	(t/百万円)	4.06	2.76
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.14	98
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(10件/10件)	100
環境美化活動	総量	(件)	15	15

* 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数（2019年度以降実績）
令和2年1月7日公表の四国電力の調整後排出係数0.528（kg-CO₂ / kWh）を使用した。

* 2. 環境負荷の少ない工事

- 支障木の再利用
- 木造現場事務所の設置
- 低騒音・排気対策型重機の使用
- 型枠・工事看板への間伐材の使用
- 汚濁水を排出しない様努める

環境負荷の少ない工事＝環境負荷の少ない工事件数（件）÷該当する総工事件数（件）

該当する工事の基準は、請負額300万円以上の工事

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2019年度 実績（基準年）	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標
売上高		百万円	177	250	255	255
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	8,752	8,300	8,300	8,200
	原単位	(ℓ/百万円)	49.45	33.20	32.55	32.16
軽油使用量	総量	(ℓ)	24,534	23,400	23,400	23,300
	原単位	(ℓ/百万円)	138.61	93.60	91.76	91.37
灯油使用量	総量	(ℓ)	336	0	0	0
	原単位	(ℓ/百万円)	1.90	0.00	0.00	0.00
LPG使用量	総量	(kg)	4	0	0	0
	原単位	(kg/百万円)	0.02	0.00	0.00	0.00
電力使用量	総量	(kWh)	6,938	6,400	6,400	6,350
	原単位	(kWh/百万円)	39.20	25.60	25.10	24.90
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	88,119	83,007	83,007	82,491
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	497.85	332.03	325.52	323.49
用水使用量	総量	(m ³)	78	41	41	40
	原単位	(m ³ /百万円)	0.44	0.16	0.16	0.16
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	558	495	495	490
	原単位	(kg/百万円)	3.15	1.98	1.94	1.92
産業廃棄物排出量	総量	(t)	717.9	690.0	690.0	680.0
	原単位	(t/百万円)	4.06	2.76	2.71	2.67
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.14	98	98	98
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(10件/10件)	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	15	15	15	15

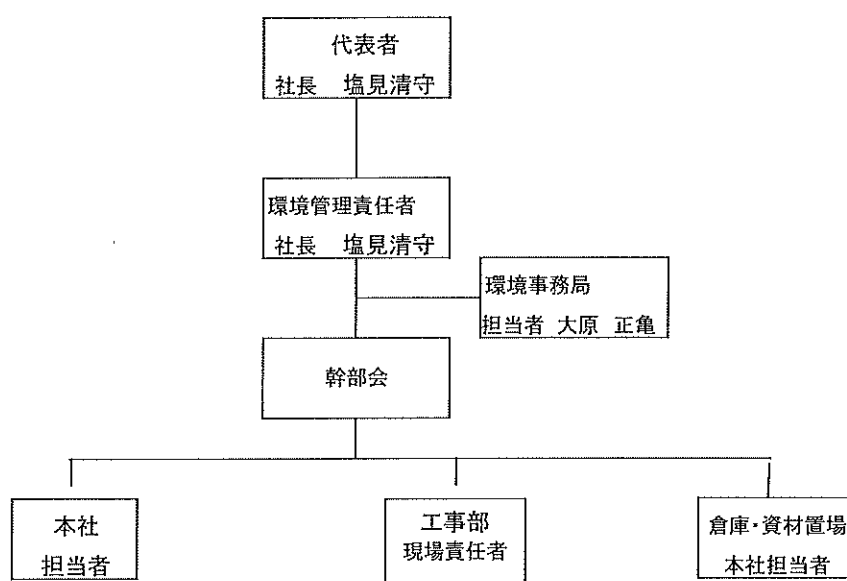
5 環境経営計画

(2023年度)

期間：2023年7月 ～ 2024年6月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量 削減	電力使用量 削減	空調の適温化（夏 冷房26℃ 冬 暖房20℃）	筒井・現場責任者	夏季・冬季
		事務所不在時、昼休み、退社時に消灯を徹底する	筒井・現場責任者	通年
		残業時には、照明の点灯は最小限とどめる	筒井・現場責任者	〃
		不在時のパソコン、プリンター等の主電源をきる	筒井・現場責任者	〃
		保温ポットの温度適正化	筒井	〃
	軽油の削減	極力低燃費重機を使用する	現場責任者	工事中
		排気ガス、騒音のレベルを抑える為、重機等修理時に 合わせ適正な整備を実施する	〃	必要時
		待機時におけるエンジンの停止処置の実施	〃	工事中
		掘削・積込時に重機のエンジンに負荷を掛けない運転を実施する	〃	〃
	化石燃料使用量 削減	自動車の急発進、急加速、空ぶかしの禁止	筒井・現場責任者	通年
		駐車中のエンジン停止	〃	〃
		タイヤ空気圧を2カ月1回確認し適正値に保つように努める	〃	〃
		定期点検整備の実施	〃	〃
車両は乗り合せて現場に行くように努める		〃	必要時	
溶接機、発電機の作業間のエンジン停止		〃	通年	
現場責任者				
廃棄物削減	一般廃棄物	両面印刷に努める	筒井・現場責任者	通年
		使用済み用紙の裏面利用の促進	〃	〃
		ミスプリント用紙の回収に努める	〃	〃
		段ボール等を再生業者に出す	〃	〃
		ゴミになる物の持ち込みを抑制する	〃	〃
		ゴミ回収ボックスを適正に配置し、分別を適正に行い資源化する	〃	〃
廃棄物削減	産業廃棄物	土木コンクリート塊、汚泥、残土等の建設副産物の削減に努める	現場責任者	工事中
		支障木を可能な限り廃棄物として出さず薪等に再利用する	〃	工事中
		幹は柵工等の材料として根株は山林に戻し立木の養分とするよう に努める	〃	〃
		必要以上に切面を増やさないように努める	〃	工事中
用水使用量削減 （排水量削減）		毎月1回定期的に漏水を点検する	筒井・大原	通年
グリーン購入		資材の購入	現場責任者	通年
環境負荷の少ない工事の実施		各現場ごとにCO2排出対策を考え記録に残すように努める 1) 支障木の再利用 2) 木造現場事務所の設置 3) 低騒音・排気対策型重機の使用 4) 型枠・工事看板への間伐材の使用 5) 汚濁水を排出しない様努める	現場責任者	工事中
J-VER CO2 購入		カーボンオフセットの購入	環境管理責任者	必要時

6 環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・課題とチャンスの明確化 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、幹部会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
幹部会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
現場責任者	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全社員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

(環境関係法規)

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	現場主任者	遵守	2024.6.28
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	現場主任者	遵守	2024.6.28
	第12条の10、11項	多量排出事業者（年間1,000t以上） の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	大原 正亀	該当工事なし	2024.6.28
	第12条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	現場主任者	遵守	随時
	第12条の三7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	大原 正亀	2024.6.11提出	2024.6.28
	第14条	産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可 （5年毎に更新）	期限切れ 3ヶ月前	大原 正亀	2024.1.22～ 2029.1.21	2024.6.1更新
	第14条の一12項	産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分				
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法）	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	現場主任者	該当工事なし	2024.6.28
	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	現場主任者	遵守	2024.6.28
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び 建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	現場主任者	該当工事なし	2024.6.28
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに知事に届出	必要時	現場主任者	該当工事なし	2024.6.28
騒音規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市の町長に届出）	必要時	現場主任者	該当工事なし	2024.6.28
振動規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市の町長に届出）	必要時	現場主任者	該当工事なし	2024.6.28
大気汚染防止法 （解体工事）	第18条の15	○解体等工事受注者は、石綿含有の有無（全ての石綿含有建材）について事前に調査し、発注者へ調査結果を書面で説明する。	必要時	現場主任者	該当工事なし	2024.6.28
	第18条の17	○特定粉じん作業開始の14日前までに 県知事に届出 解体工事：床面積80m ² 以上 建築物改築：請負代金100万円以上				
	第18条の20	○特定工事の元請け業者若しくは下請け業者は 特定粉じん排出作業において作業基準を遵守				
	第18条の22	○元請業者の下請に対する粉じん排出作業を 適切に行うよう指導				
	第18条の23	○特定粉じん作業完了後、結果を遅滞なく 発注者に書面で報告と記録の作成保管				
労働安全衛生法 （解体工事）	第88条	○解体工事の工事計画書を労働基準監督署長宛に提出（着工14日前までに）	必要時	現場主任者	該当工事なし	2024.6.28
	石綿則第5条	○建築物解体等作業届を労働基準監督署長	必要時			

		宛に提出（作業前）				
消防法	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長への許可 第1石油類 ガソリン：200ℓ 第2石油類 灯油、軽油：1,000ℓ 第3石油類 重油：2,000ℓ 第4石油類 潤滑油：6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	現場主任者	該当工事なし	2024.6.28
	第31条	○少量危険物貯蔵の消防署への届出 （指定数量の1／5以上指定数量未満の危険物貯蔵）	必要時	現場主任者	該当工事なし	2024.6.28
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	第5条	○定期点検の実施 エアコン：7.5kW以上50kW未満 エアコン：50kW以上 冷蔵機器、冷凍機：7.5kW以上 ○エアコンの簡易点検	1回／3年 1回／年 1回／年 1回／3ヶ月 必要時	大原 正亀	遵守	2024.6.28
	第41条 第42条 第43条	第一種特定製品産廃等実施者の引き渡し義務 特定解体工事の元請業者の確認と説明 第一種特定製品の産廃等実施者による書面の交付等			該当工事なし	2024.6.28
浄化槽法	第5条 第10条 第11条	○浄化槽の設置の届出 ○年6回の浄化槽の保守点検、清掃実施 ○年1回の水質検査実施	着工21日前 年1回	大原 正亀	遵守 2024.4.19清掃 法定検査	2024.6.28 2023.12.11実施
いの町仁淀川の清流保存に関する条例	第22条	造成、土地の開墾、土石砂利の採取の届出	必要時	現場主任者	該当工事なし	2024.6.28
高知県環境基本条例	第6条	事業活動に関し、環境への負荷の低減を図るとともに、環境保全及び創造に努める	随時	現場主任者	遵守	2024.6.28

（2）環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年7月より2024年6月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

8 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 2019年度 2019.7-2020.6	2023年度 目標 2023.7-2024.6	2023年度 実績 2022.7-2023.6	実績値/目標値 (%)	評価
売上高		百万円	177	250	200	80.00	
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	8,752	8,300	10,769	129.74	×
	原単位	(ℓ/百万円)	49.45	33.20	53.84	162.18	×
軽油使用量	総量	(ℓ)	24,534	23,400	19,033	81.34	○
	原単位	(ℓ/百万円)	138.61	93.60	95.16	101.67	○
灯油使用量	総量	(ℓ)	336	0	0	-	-
	原単位	(ℓ/百万円)	1.90	0.00	0.00	-	-
LPG使用量	総量	(kg)	4	0	0	-	-
	原単位	(kg/百万円)	0.02	0.00	0.00	-	-
電力使用量	総量	(kWh)	6,938	6,400	7,328	114.50	×
	原単位	(kWh/百万円)	39.20	25.60	36.64	143.13	×
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	88,119	83,007	77,956.69	93.92	○
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	497.85	332.03	389.78	117.39	×
水使用量	総量	(m ³)	78	41	70	170.73	×
	原単位	(m ³ /百万円)	0.44	0.16	0.35	213.41	×
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	558	495	346	69.96	○
	原単位	(kg/百万円)	3.15	1.98	1.73	87.45	○
産業廃棄物排出量	総量	(t)	717.9	690.0	192.5	27.89	○
	原単位	(t/百万円)	4.06	2.76	0.96	34.87	○
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.14	98	100	102.04	○
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100 (45件/45件)	100	100 (12件/12件)	100.00	○
環境美化活動	総量	(回)	15	15	18	120.00	○

* 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数 (2020年度実績)

令和2年1月7日公表の四国電力の調整後排出係数0.528 (kg-CO₂ / kWh) を使用した。

* 2. 環境負荷の少ない工事

○支障木の再利用

○型枠・工事看板への間伐材の使用

○木造現場事務所の設置

○汚濁水を排出しない様努める

○低騒音・排気対策型重機の使用

* 3. 評価は、「○」、「△」、「×」で評価する。

環境負荷の少ない工事＝環境負荷の少ない工事件数 (件) ÷ 該当する総工事件数 (件)

該当する工事の基準は、請負額300万円以上の工事

2022年度 総工事件数 10件

該当工事件数 10件

2023年度 総工事件数 12件

該当工事件数 12件

<環境経営目標未達成等理由>

ガソリン使用量 : 道路維持管理業務の増に伴い、毎日のパトロールや資材運搬等車両使用頻度が増えたため
 電力使用量 : 従業員増に伴う事務機器や連年の猛暑・厳冬の長期化によって空調設備の使用が増えたため
 水使用量 : 従業員増による使用量増

<過去の実績>

項目	総量・原単位	単位	2019年度 実績（基準年）	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績
売上高		百万円	177	154	127	278	200
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	8,752	7,949	8,223	10,728	10,769
	原単位	(ℓ/百万円)	49.45	51.62	64.75	38.59	53.84
軽油使用量	総量	(ℓ)	24,534	14,019	14,573	17,817	19,033
	原単位	(ℓ/百万円)	138.61	91.03	114.75	64.09	95.16
灯油使用量	総量	(ℓ)	336	315	0	0	0
	原単位	(ℓ/百万円)	1.90	2.05	0.00	0.00	0.00
LPG使用量	総量	(kg)	4	3	0	0	0
	原単位	(kg/百万円)	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00
電力使用量	総量	(kWh)	6,938	6,461	4,566	7,567	7,328
	原単位	(kWh/百万円)	39.20	41.95	35.95	27.22	36.64
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	88,119	58,814	59,088	74,851.16	77,956.69
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	497.85	381.91	465.26	269.25	389.78
用水使用量	総量	(m ³)	78	60	42	67	70
	原単位	(m ³ /百万円)	0.44	0.39	0.33	0.24	0.35
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	558	491	506	596	346
	原単位	(kg/百万円)	3.15	3.19	3.98	2.14	1.73
産業廃棄物排出量	総量	(t)	717.9	412.1	35.4	215.7	192.5
	原単位	(t/百万円)	4.06	2.68	0.28	0.78	0.96
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.14	98.1	78.3	98.8	100
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(10件/10件)	100(7件/7件)	100(16件/16件)	100(10件/10件)	100(12件/12件)
環境美化活動	総量	(回)	15	10	15	19	18

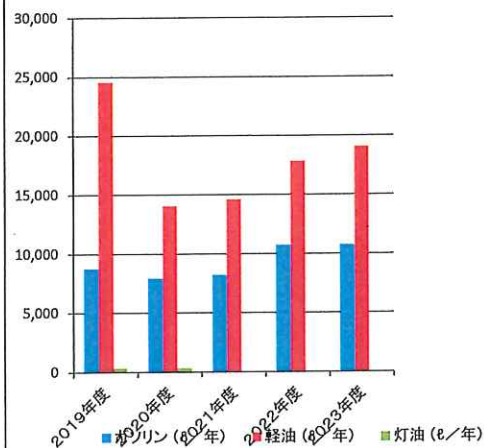
燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／年

年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)	灯油 (ℓ／年)
2019年度	8,752	24,534	336
2020年度	7,949	14,019	315
2021年度	8,223	14,573	0
2022年度	10,728	17,817	0
2023年度	10,769	19,033	0

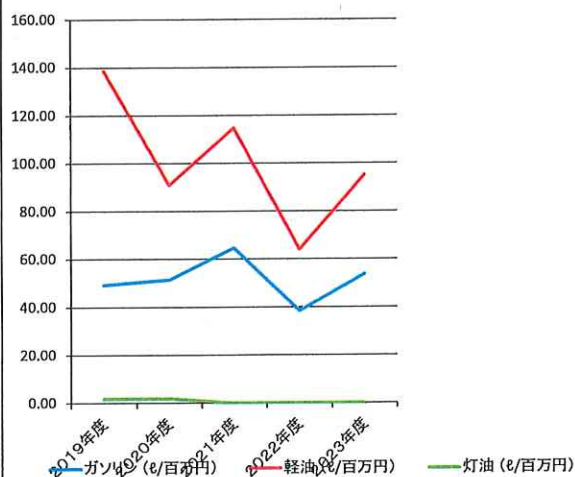
燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／百万円

年度	ガソリン (ℓ／百万円)	軽油 (ℓ／百万円)	灯油 (ℓ／百万円)
2019年度	49.45	138.61	1.90
2020年度	51.62	91.03	2.05
2021年度	64.75	114.75	0.00
2022年度	38.59	64.09	0.00
2023年度	53.84	95.16	0.00

燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、灯油）



燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、灯油）



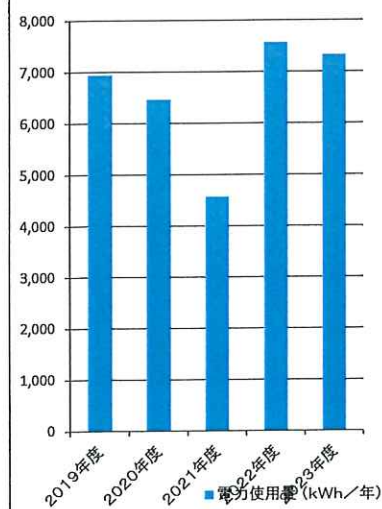
電力使用量（総量：kWh／年）

年度	電力使用量 (kWh／年)
2019年度	6,938
2020年度	6,461
2021年度	4,566
2022年度	7,567
2023年度	7,328

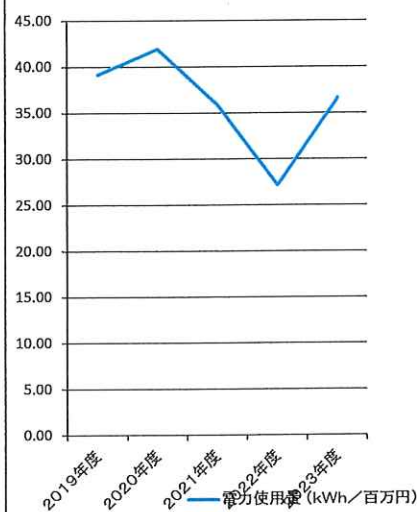
電力使用量（原単位：kWh／百万円）

年度	電力使用量 (kWh／百万円)
2019年度	39.20
2020年度	41.95
2021年度	35.95
2022年度	27.22
2023年度	36.64

電力使用量（総量）

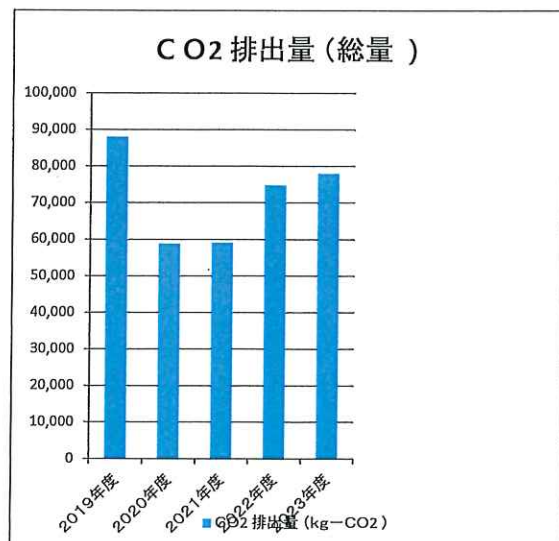


電力使用量（原単位）



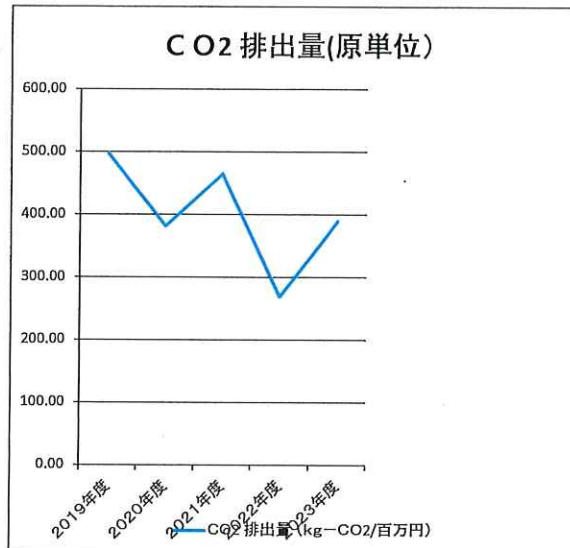
CO₂ 排出量 (総量 : (kg-CO₂))

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)
2019年度	88,119
2020年度	58,814
2021年度	59,088
2022年度	74,851
2023年度	77,957



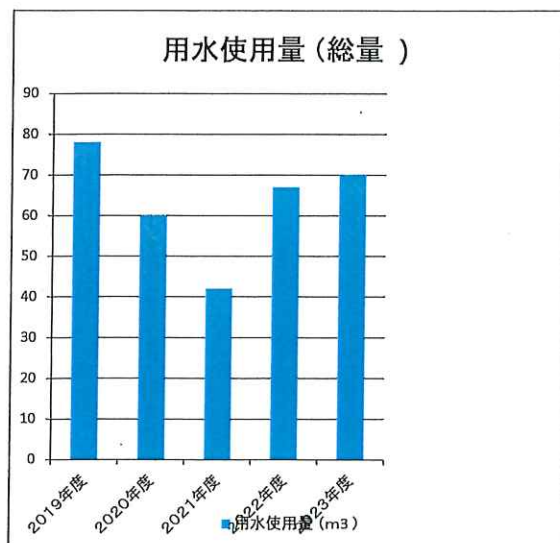
CO₂ 排出量 (原単位 : kg-CO₂/百万円)

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /百万円)
2019年度	497.85
2020年度	381.91
2021年度	465.26
2022年度	269.25
2023年度	389.78



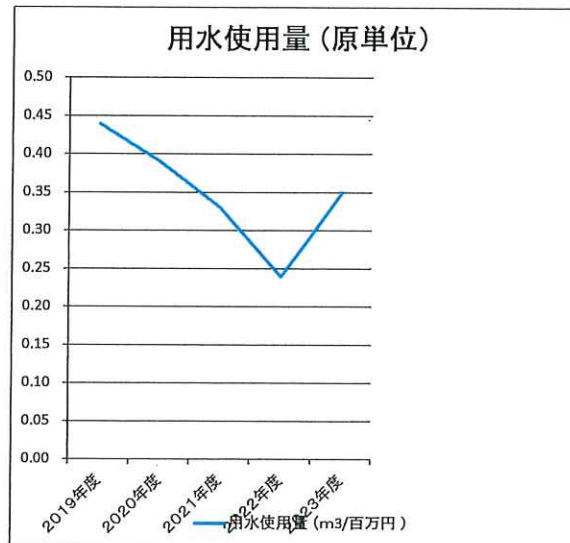
用水使用量 (総量 : m³)

年度	用水使用量 (m ³)
2019年度	78
2020年度	60
2021年度	42
2022年度	67
2023年度	70



用水使用量 (原単位 : m³/百万円)

年度	用水使用量 (m ³ /百万円)
2019年度	0.44
2020年度	0.39
2021年度	0.33
2022年度	0.24
2023年度	0.35



廃棄物排出量(総量:一般廃棄物、産業廃棄物)

単位:一般廃棄物 kg/年

単位:産業廃棄物 t/年

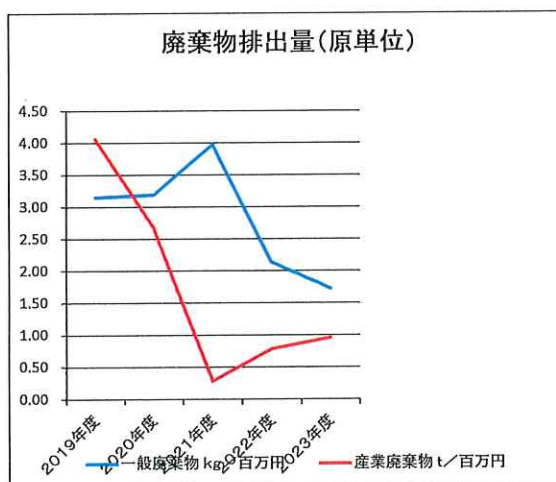
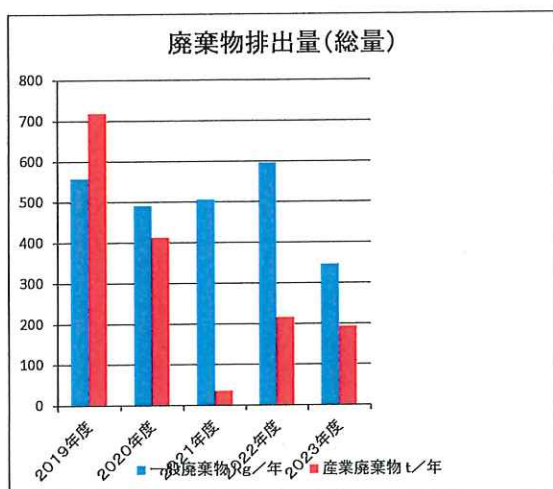
年度	一般廃棄物 kg/年	産業廃棄物 t/年
2019年度	558	717.9
2020年度	491	412.1
2021年度	506	35.4
2022年度	596	215.7
2023年度	346	192.5

廃棄物排出量(原単位:一般廃棄物、産業廃棄物)

単位:一般廃棄物 kg/百万円

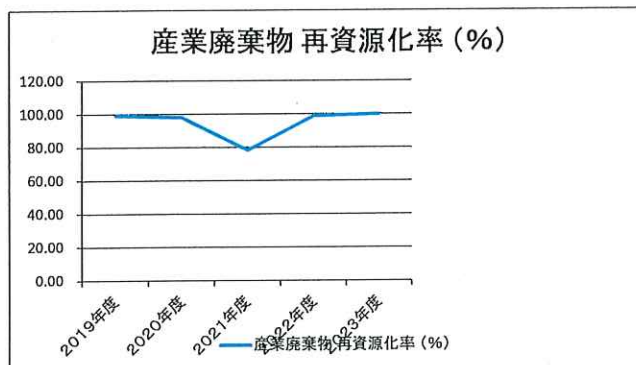
単位:産業廃棄物 t/百万円

年度	一般廃棄物 kg/百万円	産業廃棄物 t/百万円
2019年度	3.15	4.06
2020年度	3.19	2.68
2021年度	3.98	0.28
2022年度	2.14	0.78
2023年度	1.73	0.96



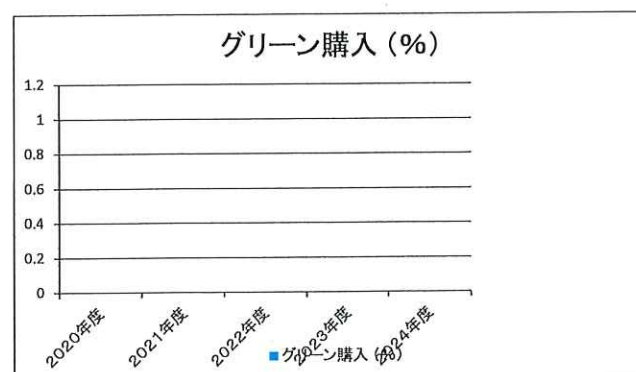
産業廃棄物再資源化率 (%)

年度	産業廃棄物 再資源化率 (%)
2019年度	99.14
2020年度	98.10
2021年度	78.30
2022年度	98.80
2023年度	100.00



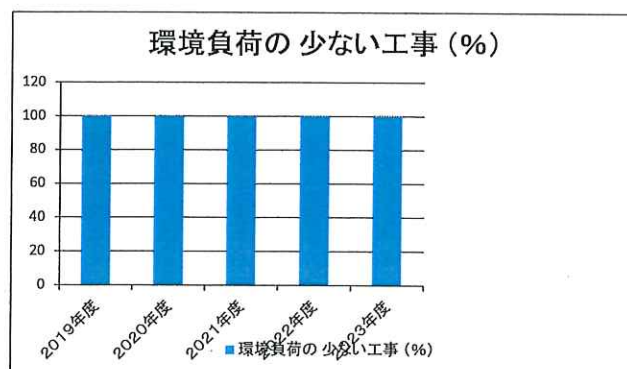
グリーン購入 (%)

年度	グリーン購入 (%)
2020年度	
2021年度	
2022年度	
2023年度	
2024年度	



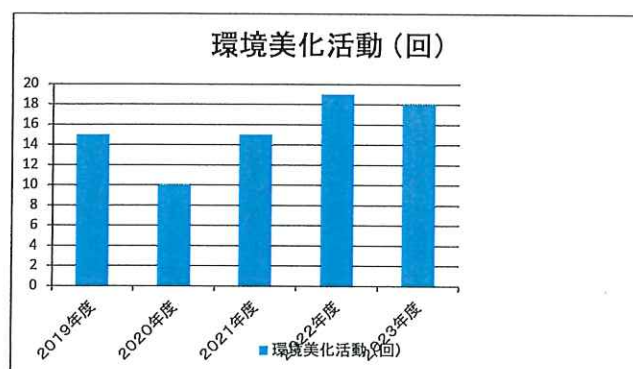
環境負荷の少ない工事(%)

年度	環境負荷の 少ない工事 (%)
2019年度	100
2020年度	100
2021年度	100
2022年度	100
2023年度	100



環境美化活動(回)

年度	環境美化活動 (回)
2019年度	15
2020年度	10
2021年度	15
2022年度	19
2023年度	18



9 環境経営計画の取組結果とその評価

期間： 2023年 7月 ～ 2024年 6月

(事務所)

項目	活動内容	取組結果	評価	見直し
CO ₂ 排出量削減	電力使用量削減 空調の適温化 (夏 冷房26℃ 冬 暖房20℃) 事務所不在時、昼休み、退社時に消灯を徹底する 残業時には、照明の点灯は最小限とどめる 不在時のパソコン、プリンター等の主電源をきる 保温ポットの温度適正化	概ね実施している。ただ猛暑・極寒の日が多々あり、設定温度を緩和する日があった	活動については、各自取り組んでいた	現状を維持するとともに、今後は、機器更新の際には、使用量削減に繋がる器具に変更する。
	化石燃料使用削減 自動車の急発進、急加速、空ぶかしの禁止 駐停車中のエンジン停止 タイヤ空気圧を2カ月1回確認し適正値に保つように努める 定期点検整備の実施 車両は乗り合せて現場に行くように努める 溶接機、発電機の作業間のエンジン停止	燃費が悪い平成27年6月製と平成5年11月製のトラックを売却し、令和6年6月に新車の軽ハコバン1台を購入した	大半の従業員が自主的に取り組んでいる。	現状を継続する。
廃棄物削減	一般廃棄物 両面印刷に努める 使用済み用紙の裏面利用の促進 ミスプリント用紙の回収に努める 段ボール等を再生業者に出す ゴミになる物の持ち込みを抑制する ゴミ回収ボックスを適正に配置し、分別を適正に行い資源化する	計画とおり実施していた。ただ一部の従業員に飲食後容器等の分別が出来ていないことがあった。	取組については、おおむね良と評価できる。	飲食後の容器の処理について、洗浄・分別を徹底するため、朝礼で注意喚起するとともに、啓発用の注意書きを張り出した。
用水使用量削減 (排水量削減)	毎月1回定期的に漏水を点検する	実施した。ただ従業員増により使用量は増えた。	社内研修や集会の場において、徹底する。	現状の取組を継続する
グリーン購入	資材の購入	概ね実施している。	緊急調達や購入価格差がある場合には、対応できないこともあるが、積極使用を進める。	現状の取組を継続する。
J-VER CO ₂ 購入	カーボンオフセットの購入	今期の購入は、見送る	特に問題点なし	現状の取組を継続する

17 環境経営計画の取組結果とその評価

期間： 2023年 7月 ～2024年 6月

(建設現場)

項目	活動内容	取組結果	評価	見直し
CO2 排出量削減	電力使用量削減 事務所不在時、昼休み、退社時に消灯を徹底する 不在時のパソコン、プリンター等の主電源を切る 照明器具は、LED化とする	実施している	周知のとおり実施されていた	現状の取組を継続する
	軽油の削減 重機の適正な整備の実施(法定自主検査の履行) 排気ガス、騒音のレベルを抑える為、重機等修理時に 合わせ適正な整備を実施する 貸借重機は、排ガス・低燃費・低騒音対応型の機種とする 待機時におけるエンジンの停止処置の実施 掘削・積込時に重機のエンジンに負荷を掛けない運転を実施する	実施している。また、受注増が見込めるため、低燃費・低騒音型の重機(コベルコ油圧ショベル)を購入した。	周知のとおり実施されていた	現状の取組を継続する
	化石燃料使用量削減 自動車の急発進、急加速、空ぶかしの禁止 駐停車中のエンジン停止 タイヤ空気圧を2カ月1回確認し適正値に保つように努める 定期点検整備の実施 車両は乗り合せて現場に行くように努める 溶接機、発電機の作業間のエンジン停止	実施している。	現場主任者が率先垂範して取り組んでいた	現状の取組を継続する。
廃棄物削減	産業廃棄物 土木コンクリート塊、汚泥、残土等の建設副産物の削減 再利用に努める 支障木を廃棄物として出さず再利用する 幹は柵工等の材料として根株は山林に戻し立木の養分 とするように努める 必要以上に切面を増やさないように努める	対象工事については、実施した	発注者と協議し、可能な範囲で廃棄物の削減に努めている	現状の取組を継続する
グリーン購入	資材の購入	再生砕石を購入している	発注者と協議し、再利用資材の使用に努めている	さらに、再生資源の利用を進める
環境負荷の少ない工事の実施	各現場ごとにCO2排出対策を考え記録に残すように努める 1)支障木の再利用 2)木造現場事務所の設置 3)低騒音・排気対策型重機の使用 4)型枠・工事看板への間伐材の使用 5)汚濁水を排出しない様努める	対象工事については、実施した	特に問題なし	現状の取組を継続する

10 次年度の取組内容

(1) 環境経営目標

(2024年度)

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準年 2019年度 2019.7-2020.6	2024年度 目標 2024.7-2025.6
売上高		百万円	177	255
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	8,752	8,300
	原単位	(ℓ/百万円)	49.45	32.55
軽油使用量	総量	(ℓ)	24,534	23,400
	原単位	(ℓ/百万円)	138.61	91.76
灯油使用量	総量	(ℓ)	336	0
	原単位	(ℓ/百万円)	1.90	0.00
LPG使用量	総量	(kg)	4	0
	原単位	(kg/百万円)	0.02	0.00
電力使用量	総量	(kWh)	6,938	6,400
	原単位	(kWh/百万円)	39.20	25.10
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	88,119	83,007
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	497.85	325.52
用水使用量	総量	(m ³)	78	41
	原単位	(m ³ /百万円)	0.44	0.16
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	558	495
	原単位	(kg/百万円)	3.15	1.94
産業廃棄物排出量	総量	(t)	717.9	690.0
	原単位	(t/百万円)	4.06	2.71
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.14	98
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(10件/10件)	100
環境美化活動	総量	(件)	15	15

* 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数（2019年度以降実績）令和2年1月7日公表の四国電力の調整後排出係数0.528（kg-CO₂ / kWh）を使用した。

* 2. 環境負荷の少ない工事

○支障木の再利用

○木造現場事務所の設置

○低騒音・排気対策型重機の使用

○型枠・工事看板への間伐材の使用

○汚濁水を排出しない様努める

環境負荷の少ない工事＝環境負荷の少ない工事件数（件）÷該当する総工事件数（件）

該当する工事の基準は、請負額300万円以上の工事

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2019年度 実績（基準年）	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
売上高		百万円	177	255	255	300
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	8,752	8,300	8,200	8,200
	原単位	(ℓ/百万円)	49.45	32.55	32.16	27.33
軽油使用量	総量	(ℓ)	24,534	23,400	23,300	23,300
	原単位	(ℓ/百万円)	138.61	91.76	91.37	77.67
灯油使用量	総量	(ℓ)	336	0	0	0
	原単位	(ℓ/百万円)	1.90	0.00	0.00	0.00
LPG使用量	総量	(kg)	4	0	0	0
	原単位	(kg/百万円)	0.02	0.00	0.00	0.00
電力使用量	総量	(kWh)	6,938	6,400	6,350	6,350
	原単位	(kWh/百万円)	39.20	25.10	24.90	21.17
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	88,119	83,007	82,491	82,491
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	497.85	325.52	323.49	274.97
用水使用量	総量	(m ³)	78	41	40	40
	原単位	(m ³ /百万円)	0.44	0.16	0.16	0.13
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	558	495	490	490
	原単位	(kg/百万円)	3.15	1.94	1.92	1.63
産業廃棄物排出量	総量	(t)	717.9	690.0	680.0	670.0
	原単位	(t/百万円)	4.06	2.71	2.67	2.23
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.14	98	98	98
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(10件/10件)	100	100	100
環境美化活動	総量	(件)	15	15	15	15

10 次年度の取組内容

(2) 環境経営計画 (2024年度)

期間：2024年7月 ～ 2025年6月

項目		活動内容	担当者	期間	
CO2 排出量 削減	電力使用量 削減	空調の適温化（夏 冷房26℃ 冬 暖房20℃）薪ストーブの利用	筒井・現場責任者	夏季・冬季	
		事務所不在時、昼休み、退社時に消灯を徹底する	筒井・現場責任者	通年	
		残業時には、照明の点灯は最小限とどめる	筒井・現場責任者	〃	
		不在時のパソコン、プリンター等の主電源をきる	筒井・現場責任者	〃	
		保温ポットの温度適正化	筒井	〃	
		照明器具は、LED化とする			
	軽油の削減	重機の適正な整備の実施（法定自主検査の履行）	現場責任者	工事中	
		排気ガス、騒音のレベルを抑える為、重機等修理時に 合わせ適正な整備を実施する	〃	必要時	
		賃借重機は、排ガス・低燃費・低騒音対応型の機種とする			
		待機時におけるエンジンの停止処置の実施	〃	工事中	
掘削・積込時に重機のエンジンに負荷を掛けない運転を実施する		〃	〃		
廃棄物削減	化石燃料使用量 削減	自動車の急発進、急加速、空ぶかしの禁止及び駐停車中のエンジン停止	筒井・現場責任者	通年	
		低公害車の計画的購入、リース車両は低公害車に限定する	〃	〃	
		タイヤ空気圧を2カ月1回確認し適正値に保つように努める	〃	〃	
		定期点検整備の実施	〃	〃	
		車両は乗り合せて現場に行く等エコドライブを徹底する	〃	必要時	
		事務所のオール電化	現場責任者	通年	
	一般廃棄物	両面印刷に努める	筒井・現場責任者	通年	
		使用済み用紙の裏面利用の促進	〃	〃	
		印刷前の見直しを徹底し、ミスプリントを少なくする	〃	〃	
		段ボール等を再生業者に出す	〃	〃	
個人的なゴミの持ち込みを厳禁する		〃	〃		
	ゴミ回収ボックスを適正に配置し、分別を適正に行い資源化する	〃	〃		
廃棄物削減	産業廃棄物	土木コンクリート塊、汚泥、残土等の建設副産物の削減に努める	現場責任者	工事中	
		支障木を可能な限り廃棄物として出さず薪等に再利用する	〃	工事中	
		幹は掘工等の材料として根株は山林に戻し立木の養分とするよう に努める	〃	〃	
		必要以上に切面を増やさないように努める	〃	工事中	
用水使用量削減 （排水量削減）		毎月の漏水点検	筒井・大原	通年	
グリーン購入		事務用品等の購入	現場責任者	通年	
環境負荷の少ない工事の実施		各現場ごとにCO2排出対策を考え記録に残すように努める 1)支障木の再利用 2)木造現場事務所の設置 3)低騒音・排気対策型重機の使用 4)型枠・工事看板への間伐材の使用 5)汚濁水を排出しない様努める	現場責任者	工事中	
J-VER CO2 購入		カーボンオフセットの購入	環境管理責任者	必要時	

代表者
塩見 武尊

11 代表者による全体評価と見直しの結果

■定期見直し
□臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 2023年7月1日より2024年6月30日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 2023年7月1日より2024年6月30日まで、問題点の是正処置及び予防措置となるものはありませんでした。 ③前回までの代表者の指示事項への対応 産廃マニフェストの適正な記載、家庭ゴミの持込禁止等環境対策を含めて業務執行上必要不可欠な事項については、朝礼等機会ある度に周知徹底し、改善に努めている。 <改善提案>				【環境経営方針】 変更の必要性： □有 ■無	
【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】				【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】 変更の必要性： □有 ■無	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)		
ガソリン使用量	×	○	目標、計画を継続する		
軽油使用量	○	○	目標、計画を継続する		
電力使用量	×	○	目標、計画を継続する		
CO2使用量	○	○	目標、計画を継続する		
用水使用量	×	○	目標、計画を継続する		
一般廃棄物排出量	○	○	目標、計画を継続する		
産業廃棄物排出量	○	○	目標、計画を継続する	【その他】 変更の必要性： □有 ■無	
環境負荷の少ない工事	○	○	目標、計画を継続する	エコアクション21はシステムとして有効に機能している。	
環境美化運動	○	○	目標、計画を継続する		
<改善提案>					
【周囲の変化の状況】 ①外部コミュニケーション記録より 2023年7月1日より2024年6月30日まで、外部からの苦情・要望はありませんでした。 ②環境関連法規制等の動向他 当社における、環境関連法規の改定の対象となるものではありませんでした。 <改善提案>				【総括】 （環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載） ・環境経営目標については、受注状況に左右されることを再認識した。 ・環境経営計画については、全員の積極的な取組はできている。 ・外部からの苦情要望はなく、地域に密着した事業展開を是とする弊社にとっては一安心している。更に地域住民とのコミュニケーションを深めていく。 ・BCP審査基準を満たしている弊社は、今後の緊急事態訓練にBCPとの連携活動を充実させたい。	
代表者が自ら得た情報					

取組状況(R5.7.1～R6.6.30)

高校生と地域の清掃



近所の皆さんと清掃



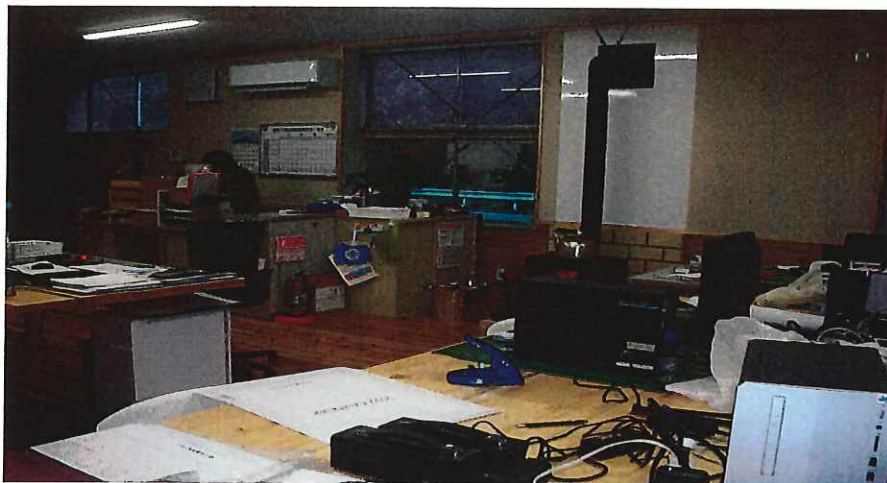
いの町一斉清掃での収集運搬



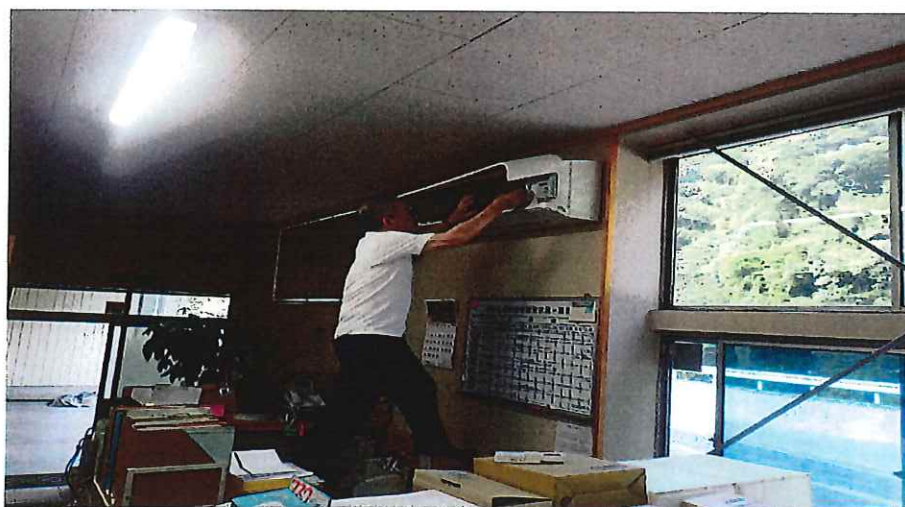
地域防犯活動(児童見守り)



暖は薪ストーブ



定期フィルター清掃



昨年度審査員からの指摘事項について研修



社長から目標・活動計画の進捗への言及



火災対応

